

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十五年六月度 入選句 (投稿総数千九百七十七句・小中生投句数千三百九十五句)

特選 選者 遠藤 幹郎

真っ青な空のキャンパス雲の峰 大垣市 吉田 帆香(小六)

「真っ青な空のキャンパス」が、この句を引き立てています。真夏の午後、真っ青に晴れ渡った大空の一角に、入道雲が湧き立っている様子が一枚の画布に描かれているようです。その空と入道雲とに、真夏の太陽が輝いているさまも目に浮んできます。「雲の峰」は、夏を代表する季語です。大景を存分に詠い上げた一句です。

あじさいがいろんなかさをひらいてる 大垣市 前田 るい(小四)

「あじさい」も夏を彩る代表的な季語です。「いろんなかさをひらいてる」に、るいさんの発見があります。読み手にいろいろな想像をかきたててくれます。「あじさい」は、「七変化」とも言い、花の色合いが変化します。雨の中でカラフルな傘を広げて群がり咲いているさまがたくみに詠い上げられました。

つばめの子あらたないのち生まれたよ 大垣市 吉岡 杏紗(小三)

「つばめの子」も、夏の季語です。つばめは、四月末から五月初めの頃と、六月から七月にかけて二度、産卵して、つばめの子が生まれます。杏紗さんの家に、今年も親つばめがやって来たのですね。巣作りから子ども誕生まで毎日観察してきたのですね。「あらたないのち生まれたよ」で、つばめの子の誕生を喜びみんなに報告している様子が伝わってきます。

秀逸

ホタルさん夜空の星になっっている 大垣市 松田 愛未(小六)

大変身たんすの中も衣がえ 大垣市 武藤 亜実(小六)

梅干しを一口たべれば母の味 大垣市 立川 星那(小五)

ちちの日にちちにあげるよえがおのえ 大垣市 棚橋 あいら(小四)

ひまわりと真っ赤な太陽おともだち 大垣市 一ツ松 玲那(小六)

畑でね取れたトマトにかぶりつく 大垣市 辻 美帆(小五)

かき氷お口の中ではじけてる 大垣市 立川 星那(小五)

じいちゃん作るすいかはあーまいぞ 大垣市 古田 晏寿(小四)

風鈴のすずしささそうハーモニー 大垣市 長屋 明莉(小六)

水鉄砲かけてかけられにじの橋 大垣市 若園 麗乃(小六)

入選

草しげる昆虫たちがかくれんぼ 大垣市 廣瀬 奈々香(小六)

服一枚ぬげるよヤッター衣がえ 大垣市 上田 伶哉(小六)

雨蛙鳴けば鳴くほど雨が降る 大垣市 清水 浩紀(小六)

暑さをねお化け屋しきでふつとぼす 大垣市 木村 ひな胡(小五)

青嵐ぼうしふきとびおいかけ 大垣市 江崎 友香(小六)

プールでねえがおがいつぱいたのしいな 大垣市 平野 布季(小二)

いちごさんまだまだ青い赤くなれ 大垣市 川合 凌矢(小五)

お祭りの香りが残る台所 大垣市 西田 芽生(小六)

かぶとむしいつもたたかいてまっている 大垣市 小林 奈央(小二)

大きくわは太いのでつよそうだ 大垣市 吉田 真優(小二)

入選

お日さまもむぎわらぼうしかぶってね 大垣市 傍島 倫(小二)

くらやみでダンスをおどるほたるたち 大垣市 大橋 佑香(小三)

ふくろがけぜんぶ手さぎょうたいへんだ 大垣市 白井 椋亮(小三)

あじさいにほうせききりきれいだな 大垣市 神田 彩成(小三)

かえるたちはっぱのしたであまやどり 大垣市 藤墳 龍紅(小三)

ひまわりが太陽むいておはなしだ 大垣市 前田 桃佳(小四)

つばめわねすを作るのにひっしだよ 大垣市 吉田 響(小四)

家の中ペットもくらす夏の夜 大垣市 高橋 紫音(小六)

そうじしてプールピカピカきもちいい 大垣市 豊長 希月(小六)

ソーダ水最後の一本ジャンケンポイ 大垣市 中島 明日香(小六)

選者吟

代掻けば雲の影また一つ増え

幹 郎